

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-66006(P2009-66006A)

【公開日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2007-234315(P2007-234315)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月7日(2010.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

枠体と、その枠体の前面を開閉する扉体と、その扉体と前記枠体とにより形成される空間内に設けられ遊技の主たる制御を行う主制御手段と、前記空間内に設けられ前記主制御手段からの指示に従った制御を行う副制御手段とを備えた遊技機において、

前記主制御手段と副制御手段との両方に接続されると共に、前記枠体に対する前記扉体の開閉動作を検出する検出手段を備え、

前記主制御手段は、

前記検出手段により前記扉体の開閉動作が検出された場合に、その扉体が開閉動作することに伴い変化する変化情報を記憶する主変化情報記憶手段と、

その主変化情報記憶手段に記憶されている変化情報を前記副制御手段へ送信する送信手段とを有し、

前記副制御手段は、

前記検出手段により前記扉体の開閉動作が検出された場合に、その扉体が開閉動作することに伴い変化する変化情報を記憶する副変化情報記憶手段と、

その副変化情報記憶手段に記憶されている変化情報と、前記送信手段により送信される変化情報とが対応するものであるか否かを比較する比較手段と、

その比較手段による比較の結果、前記副変化情報記憶手段に記憶されている変化情報と、前記送信手段により送信される変化情報とが対応しない場合に、その旨を外部に出力する第1出力手段とを有し、

前記主変化情報記憶手段に記憶されている変化情報をクリアして初期化する指示がなされた場合に、その主変化情報記憶手段に記憶されている変化情報を0以外の特定の値に設定する主特定値設定手段と、

前記副変化情報記憶手段に記憶されている変化情報をクリアして初期化する指示がなされた場合に、その副変化情報記憶手段に記憶されている変化情報を0以外の特定の値に設定する副特定値設定手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0579

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0579】

10 スロットマシン(遊技機)

11 筐体(枠体)

12 前面扉(扉体)

1 3 上部ランプ（第1出力手段の一部）
1 4 スピーカ（第1出力手段の一部）
1 5 補助表示部（第1出力手段の一部）
2 4 扉検出センサ（検出手段）
2 6 扉開放センサ（検出手段）
1 1 1 表示制御装置（副制御手段）
1 3 1 主制御装置（主制御手段）
1 5 3 e 開閉回数カウンタ（主変化情報記憶手段）
1 8 6 g 開閉回数カウンタ（副変化情報記憶手段）
1 0 2 4 扉検出センサ（検出手段）
3 0 1 2 電極（検出手段の一部）
3 0 2 2 電極（検出手段の一部）